

ゆめ

さくら

# 夢咲楽

## ～和輪話通信～

目次	■ 未来にはばたけ!! ～さくら市の若者たち～……1	■ マスミ先生 「LINEを安全に活用しよう」……3
	■ 子どもを育てる! ふれあいメッセージ ……2	■ 青少年センター新班長コメント……4



**未来にはばたけ!!**  
～さくら市の若者たち～

### チームワークで挑む夢の舞台

今回は八月に行われる全国大会へ見事出場を決めたさくら清修高校演劇部取材しました。

全国大会出場という栄誉を手にした「自転車道行管根崎心中」は、原発問題を独創的に表現したオリジナル作品です。「原発」という重いテーマを演じる若者たちの素顔をのぞいてみました。

さくら清修高校演劇部は、一月に行われた関東大会で優秀賞を獲得し、念願だった全国大会という夢の舞台に立ちます。台本を書くのは基本的に顧問の岩淵先生ですが、細かい台詞や言い回しは部員たちで考え、登場人物らしい生き生きとした会話になるように、何度も話し合って納得いくものに仕上げるそうです。

部長の西脇のぞみさんは、二年生が入ったことにより演劇部がグレードアップしました。また、今年は男子も二名入部してくれたことで、より青春臭さが増し、奥行き感と幅のある演劇ができるようにもなりました。全国大会ではそれを生かし、さくら清修演劇部の集大成にしたいです!と、意気込みを話してくれました。

また、「もつと演劇を学んで、将来的に照明にチャレンジしたい!」「ひとりひとりの個性を生かせるような台本を書いてみたい!」などと話す部員の姿には、まさに一丸となってひとつの作品を作り上げている演劇部の底力を見せつけられました。

演劇には役者だけでなく、照明や大道具など裏方の存在も大きいと語ってくれた部員の言葉のとおり、お互いを認め合い尊重している姿勢が、すばらしいチームワークを生み、全国大会への切符を手に入れたのだと実感しました。

八月の全国大会では、さくら清修高校演劇部のすばらしい演技を期待しています。

わわわ隊 大河原 千晶 手塚 良作

## 氏家小学校SUNさんサポート隊

「氏家小学校SUNさんサポート隊」は、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動を展開するため、さらに氏小の子どもの健やかな成長のために、平成24年8月に活動を開始しました。SUNさんサポートと言う名前には、子どもたちをSUN（太陽）のように見守り、よいところを賞賛し支えていくという意味を込めたのだそうです。現在、保護者と地域の方たち31名で、6つの活動分野で支援を行っています。

- 図書サポート隊……本の貸し出し・返却の準備や本棚の整理、新刊本の受付作業
- ミシン・裁縫サポート隊……家庭科のミシン、裁縫作業の支援
- 引率サポート隊……校外学習などでの引率
- 学習サポート隊……学習の支援や教材作成
- お掃除サポート隊……お掃除の支援
- 遊びサポート隊……子ども達の遊びの提供

※これから活動を開始する隊もあります。



隊員の皆さんのモットーは「子ども達がかかる・できる・楽しい・安全」と思える教育活動だそうで、子ども達に元気ももらって、一緒にいきいきと活動に従事していらっしゃいます。活動の原動力は何よりも子ども達の笑顔だそうです。

こんな氏家小学校SUNさんサポート隊に、皆さんも参加されませんか。隊ではメンバーを随時募集しているそうです。興味のある方は生涯学習課(686-6621)までご連絡をどうぞ。

わわわ隊 加藤 朋子



## 感謝の気持ちを！

氏家小学校  
校長 小堀 良一



岡田幸文さん。高根沢町出身で、千葉ロッテマリーンズで好守・俊足の外野手として活躍しており、ゴールデングラブ賞を2度受賞された野球選手です。彼は、度々けがをされ、何度か野球をあきらめなければならないことを経験しましたが、23才のとき夢をかなえ、育成卒で千葉ロッテマリーンズに入団しました。

大活躍をしたオフシーズンに、私は岡田さんと一対一で15分ほど話す機会がありました。スター選手の仲間入りをした岡田さんの口からは、「感謝」の言葉が次々と発せられました。

- ①野球ができる体に生んでくれた両親に感謝
- ②野球を存分にやらせてくれる妻に感謝
- ③裏方でプロ野球選手を支えてくれる方々に感謝
- ④今、丈夫な自分自身の体に感謝
- ⑤グローブやバットなど道具に感謝

世の中、絶対一人では生きていくことはできません。周囲に対する「感謝の気持ち」をもって生活していきたいと強く強く私自身も思っています。



# LINEを安全に活用しよう

LINE(ライン)は、スマートフォンで主に使われている日本発のメッセージ&電話アプリです。「無料で音声電話ができる」、「かわいいキャラクターの画像スタンプが使える」、「携帯電話会社や機種を問わずにメッセージと電話ができる」などの特徴から、利用者が急激に拡大しています。日本のLINEユーザーはすでに2800万人、全世界でも6000万人を超えました。スマートフォンだけでなく、一般の携帯電話(いわゆるガラケー)やパソコンともメッセージをやり取りできるため、コミュニケーションツールの定番になっています。

しかし、便利なLINEで思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。LINEを安全に使うためのポイントをまとめてみました。

まずLINEを使った友だちとのつながりやメッセージのやり取りで、不安なこと主な3つの事例をあげます。

- ①「勝手に友だちが追加される」
- ②「知らない人が友だちになる」
- ③「知らない人からメッセージがくる」

## LINEで不安を取り除く、絶対に必要な具体的設定の5ポイント

### 1: 初期設定時のアドレス帳送信は慎重に

まずLINEのインストール時に、あなたのアドレス帳(電話帳)がLINEのサーバーに送信されます。LINEのサーバー上にあるデータベースと照合するためです。アドレス帳の電話番号をもとにして、LINEのユーザーがいると、友だち候補として表示されるしくみです。アドレス帳の内容や電話番号が外にも漏れることはなく、他の用途には使用しないとしています。

しかしながら、アドレス帳が送信されてしまうことに、不安を感じる人もいるでしょう。アドレス帳送信がいやな人は、このステップを飛ばしてください。友だちの登録が不便になりますが、IDの検索や直接会って登録(スマートフォンを振る操作)などから友だちになれます。また、アドレス帳送信→友だち登録は、後からもできるので、とりあえずは送信せずに様子を見るのもいいでしょう。

### 2: 「友だち自動追加」をオフに

初期設定では、自分のアドレス帳に登録している人が、自動的に友だちに追加されてしまいます。これを防ぐには、「設定」→「プライバシー管理」→「友だち自動追加」で、「友だち自動追加」をオフにしましょう(Androidではチェックマークを外す。以下同じ)。必要場合は手動で追加できるので、通常は「オフ」にしておきましょう。

### 3: 「友だちへの追加を許可」は絶対にオフに

初期設定ではオンですが、この状態だと相手のアドレス帳に自分の電話番号があると、自動的にLINEの友だち一覧に候補として表示されてしまいます。こちら側の

アドレス帳から削除した人でも、相手側に残っていれば表示されてしまいます。これを防ぐには、「設定」→「プライバシー管理」→「友だち自動追加」で、「友だちへの追加を許可」をオフにしましょう。

### 4: IDを設定している場合は

#### 「IDの検索を許可」をオフにする

LINE上の名前として「ID」を設定できます。IDがあったほうが、LINEで登録してもらうのに便利ですが、まったく知らない人から登録される可能性もあります。これを防ぐには、普段はIDで検索されないように設定を変更しましょう。「設定」→「プライバシー管理」で、「IDの検索を許可」をオフにします。必要な場合だけオンにすればいいでしょう。

### 5: 知らない人からのメッセージは

#### 「ブロック」で

知らない人、連絡を取りたくない人がいる場合は「ブロック」しましょう。ブロックすると、相手からのメッセージや電話を遮断できます。相手にブロックしたことは伝わらないので、問題は起きません。ブロックするには、友だち一覧に表示されている友だちをタッチし、左右にスライド(スワイプ)させて「ブロック」を押します。Androidでは、友だち一覧で友だちを長押しすると「ブロック」のメニューが出てきます。元に戻したい場合は、「設定」→「プライバシー管理」のブロックリストで解除すればいいでしょう。

以上の5ポイントを守れば、LINEを安全に使うことができます。ただし、LINE自体の使い方にも気をつける必要があります。

**LINEはあくまで親しい友人、実際に会ったことのある人とコミュニケーションするためのツールです。**

LINEのIDを公開してしまう人がいますが、一般公開はトラブルの原因となります。出会い系のように交際目的の人が近づいてくることになり、詐欺の導入として使うパターンも見受けられます。

LINEのIDは絶対に公開しないこと。掲示板やTwitter・Facebook、モバゲーやmixiなどで、LINEのIDを公開はひかえましょう。LINEのIDは、携帯の電話番号やメールアドレスと同じと考え、公開せずに親しい友人だけに知らせるように気をつけましょう。スマートフォンを使い始めたばかりの中高校生には、ぜひ守ってもらいたいと思います。

# 青少年センター 新班長コメント

今年度、青少年センターは新たな少年指導員を迎え、新体制となりました。

そこで、各班の新班長のコメントを紹介します。



## 研修班



本年度も他市の青少年指導員との交流を深め研修したいと思います。また子どもの健全な育成のための講習会(さくら市の子どもを考える会)等の開催を予定しています。その際は多数の方々のご来場をお待ちします。

班長 井上 隆雄

## ICT研究班



今や青少年の健全育成活動を考える時「情報モラル教育」は欠かせません。情報社会における技術の進歩と利便性は更に加速して行くことでしょう。私たちICT研究班は学校と保護者のかけ橋となって支えてまいります。

班長 田代 眞澄

## 体験活動班



今年度は、「つなぐ」という言葉をテーマにしました。「人と人の心をつなぐ・地域の方とのつながり・次世代につなげる」の意味があります。このテーマをもとに、指導員の皆様と協力し合い、よりよい活動に努めていきたいと思っております。

班長 加藤 有希

## 広報啓発班



今年度から広報啓発班長を務めさせていただく事になりました。広報啓発班は各班の活動を多くの方に知っていただき、そこから和輪話が広がっていく為のいわば窓口です。それを胸に全力を尽くしていきます!!

班長 大河原千晶

## 巡回班



人との会話はあいさつから。今年度も朝の声かけ活動を継続しつつ、若者たちへの安全安心を心がけながら豊かな地域作りを目標にし、少年指導員一丸となって努めていきたいと思っております。

班長 飯島 満

## 声かけ活動について

今年度も朝、市内の小学校・中学校・高等学校の校門等に立ち、登校する児童・生徒に"声をかける"活動と夕方氏家駅などであいさつ運動を実施していきます。

今後の予定 7月3日(水)、9月4日(水)、11月6日(水)、  
1月8日(水)、3月5日(水)

※上松山小学校 8月29日(木)、11月26日(火)、  
1月15日(水)

※上松山小学校での活動は、卒業生が母校を訪れあいさつ活動を行う日に合わせて実施しています。

## あとがき

私たち「わわわ隊」は、さくら市の子どもや若者が、輝ける自分の未来に向かって希望を持ちつづけることを願っています。

そして、私たちはこの燃え盛る熱い思いを胸に、「朝夕の声かけ活動」を中心に各班が趣向をこらし様々な活動をしており、これらの活動はさくら市ならではの素晴らしいものであると自負しています。

夢咲楽～和輪話通信～は、今回で第20号に至りました。

多くの読者の皆さまからのご意見、ご感想あつての広報紙です。今後とも皆さまのご愛読をよろしくお願ひします。



田代新会長

さくら市の子どもを  
みんなで育てよう

第3日曜は  
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん  
夢咲楽～和輪話通信～ 第20号  
発行日 平成25年7月1日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1  
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368  
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp  
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくらわわわつしんは平成25年11月に発行予定です